

LIBERAL&DEMOCRATIC

自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町 1-11-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)
<毎週火曜日発行>



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

自民党 衆議院議員 滋賀県第三選挙区〈草津・栗東・守山・野洲〉

武村のぶひで 国政レポート



衆議院議員

たけ むら

武村のぶひで

昨年12月の衆議院総選挙で初当選させていただいて以来、安倍内閣を支える与党の一員として奔走してまいりました。

私は選挙の際に三つの公約を訴え議席をいただきました。それは ①日本を立て直すこと、我々の生活のため、デフレから脱却し経済再生を成し遂げる ②人口増に追い付いていないインフラ整備など湖南地域の課題に取り組む ③自由民主党の信頼を取り戻すことです。この公約を片時も忘れず、誠心誠意汗を流してまいります。

安倍内閣の掲げる三本の矢のうち、一本目の矢である「大胆な金融政策」について、安倍政権の意向により日銀が従来の政策を大転換し、資本市場の活性化につながっています。二本目の矢「機動的な財政政策」については平成24年度補正予算及び25年度予算が成立し、経済の呼び水としての効果が期待されています。

今後、三本目の矢「需要を喚起する成長戦略」の具体化に、積極的に提言を行ってまいります。特に、企業に対する投資減税、電力システム改革、農地の集約化による農業の再生、国家戦略特区制度、医療版マイナンバー制度の推進、医薬品や医療機器の審査の早期化、農産物の輸出を含む「クールジャパン戦略」の推進等に力を注いでまいります。

日本経済の持続的な成長には、財政の立て直しも喫緊の課題です。今後、いわば「第四の矢」として財政再建の道筋を明確にすることの重要性を訴えてまいります。

私は、自民党内で「無派閥」という立場から安倍政権を支え、何としても経済の再生を成し遂げる所存です。地域のさらなる発展のために県内選出の4名の衆議院議員は、滋賀県参議院選挙区支部長・二ノ湯たけしさんと共に、一致団結して国政に取り組んで参ります。今後とも皆様のご指導のほどよろしくお願いいたします。



滋賀県参議院選挙区支部長

に の ゆ

二ノ湯たけしさん

と共に日本・滋賀のため働きます。



武村展英プロフィール

経歴

●公認会計士 ●国際公認投資アナリスト(CIIA)

●農業経営アドバイザー

昭和47年1月21日[41歳]

草津生まれ草津育ち。祖父の自家は栗東市林。草津第二小学校・草津中学校・大谷高校卒業。

平成7年 慶應義塾大学商学部卒業(計量経済学専攻)。国家公務員採用I種(経済職)合格。

平成6年(～平成12年) 大学在学中から衆議院議員政策担当秘書を務め、様々な法案策定、経済対策の立案に従事。

平成15年 公認会計士試験第二次試験合格、新日本有限責任監査法人入所。多くの民間企業・自治体の監査に従事。

平成24年 自由民主党公認で衆議院議員選挙初当選。

衆議院での所属委員会

●経済産業委員会

●決算行政監視委員会

●科学技術・イノベーション推進特別委員会

自民党での役職

●青年局次長

●琵琶湖の改善を促進する議員連盟事務局次長

所属議員連盟

●日本会議国会議員懇談会

●4月28日を主権回復記念日にする議員連盟

●神道政治連盟国会議員懇談会

●自民党看護問題対策議員連盟

●自民党行政書士制度推進議員連盟

●自民党消防議員連盟

●医薬品のネット販売に関する議員連盟

●資源確保戦略推進議員連盟

●新しい難病対策の推進を目指す超党派国会議員連盟

●栄養教諭議員連盟

●栄養士議員連盟

●ボーイスカウト振興議員連盟

●専修学校等振興議員連盟

●障害者の芸術文化振興議員連盟

●内水面漁業振興議員連盟

●幼児教育議員連盟

●トラック輸送振興議員連盟

●自民党小規模企業税制確立議員連盟

●国民歯科問題議員連盟

●自民党全国保育関係議員連盟

▼ 衆議院での質疑 (一部抜粋)

予算委員会第8分科会(国土交通省)(4月15日)

**交通の要所として年々増大する交通量に対して
インフラ整備が追い付いていない湖南地域の実態、
河川改修の整備率が未だ55%と極めて低い
湖南地域の現状を訴えました。**

- ◆滋賀県南部地域の道路の現状についての政府の認識
- ◆国道8号バイパス(野洲栗東バイパス)、国道1号バイパス(栗東水口道路)、山手幹線の早期整備の必要性についての政府の認識
- ◆滋賀県南部地域の河川の現状についての政府の認識
- ◆日野川をはじめとする野洲市内の河川改修等の早期実施の必要性についての政府の認識
- ◆近江大橋が、滋賀県と国土交通省の協議において道路整備特別措置法における維持管理有料道路としての適用が認められなかった理由

経済産業委員会(4月24日)

**消費税転嫁対策特別措置法についての
参考人質疑を行いました。**

消費税率を上げる際に中小企業が円滑に消費税額を価格に転嫁できるよう、事後の取り締まりだけでなく事前の徹底した周知の必要性について訴えるとともに、あたかも消費税を転嫁していないと消費者に誤認させる表示を規制することの妥当性について訴えました。



決算行政監視委員会(6月3日)

**平成21年度から決算の審査が
未了になっていることについて**

衆議院での決算審査が平成21年度から滞っていることについて早急な対応が必要であることを訴えるとともに、国の会計制度に企業会計の手法を取り入れていくことの必要性について訴えました。

科学技術・イノベーション推進特別委員会(5月16日)

**成長戦略としての科学技術イノベーションの
推進について**

- ◆エネルギーの長期的な安定供給のため、次世代のエネルギーとされるITER計画の進捗状況と今後の見通し、政府の取り組みの方針
- ◆政府はiPS細胞などを使った再生医療製品や医療機器の審査手続を簡素化して早期の製品化を可能とする法案を提出する予定とのことであるが、このような日本が世界をリードしていくことのできる先端技術を経済成長に結び付けていく施策について、これまでの反省を踏まえ今後の戦略についての政府の見解

決算行政監視委員会第4分科会(6月21日)

**JAL問題について、
法務局出張所の統合について**

国による巨額の支援を行って再建した日本航空について、税金を投入した国の立場からの監督が不十分であったことを強く指摘しました。また、政府が進める法務局出張所の統合について利便性が低下することのないよう、地域の実情を考慮する必要性について訴えました。



衆議院での質疑の様子は以下のアドレスの「ビデオライブラリ」からご覧になれます。

<http://www.shugiintv.go.jp/jp/index.php>

▼ 地域の課題に対する取り組み

草津川跡地 国道1号トンネル撤去へ

草津川跡地と交差する国道1号トンネルを撤去し、歩行者の安全と大型車両の通行を確保し、緊急時や災害時にも安心して通行できるよう、調査費を計上し、撤去に向けた事業が本年度から開始されます。



湖南地域のインフラ整備の取り組み

人口が激増する湖南地域においては慢性的な道路の渋滞が日常化しています。また湖南地域は河川の整備が遅れており、河川の氾濫による被害が大きなものとなる可能性が高い状況です。国道1号バイパス、国道8号バイパス、山手幹線の早期整備、道路の安全対策、河川改修の早期整備に全力を注ぎます。

▼ 湖南地域インフラ整備に関して、次の予算が計上されました。

事業名(箇所)	H24年度 補正予算	H25年度 本予算当初	備考
1号バイパス	11億	31.6億	*3区以外の市にまたがって事業が行われているものを含む。
8号バイパス	3.7億	7.8億	*3区以外の市にまたがって事業が行われているものを含む。
安全対策	0.8億	1.4億	3区
河川改修(直轄野洲川)	1.8億	1億	3区
河川改修(滋賀県全体)	5.4億	12.4億	*県全体額で河川・ダム事業です。

*上記は、国直轄事業、県事業、市町事業の合計です。

琵琶湖再生法の成立に向けて

琵琶湖総合開発によって水質が悪化している琵琶湖を再生するためには、国としての取り組みが不可欠です。琵琶湖の改善を促進する議員連盟の事務局次長として琵琶湖再生法の成立に向けて、来年の通常国会での法案提出をめざし、全力で取り組みます。

まちづくりの取り組み

湖南四市は将来を見据えたまちづくりの取り組みを行っています。こうしたまちづくりの取り組みを国の立場から全力で支援します。

計画	H24年度 補正予算	H25年度 本予算当初	備考
まちづくり	15.5億	29.1億	*3区に関する社会資本整備総合交付金です。

*上記は、国直轄事業、県事業、市町事業の合計です。

